

# 池田直樹 50曲リクエスト・コンサート

## ～出演者プロフィール～



池田 直樹 (いけだ なおき) バス・バリトン

東京芸術大学首席卒業、同大学院修了。中山悌一、小島琢磨、ハンス・ホッターの諸氏に師事。第10回東京国際音楽コンクール第2位受賞。第7回ジロー・オペラ賞受賞。1980～81年、文化庁芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。二期会オペラ劇場公演では、『フィガロの結婚』のフィガロ役を代表とする多くのモーツァルトの作品で存在を確かなものとし、『ジークフリート』のヴォータン役など数々のワーグナーの作品でも重厚な役で公演を成功に導いた。また『メリー・ウィドー』などのオペレッタの公演に於いては軽妙な演技で喝采を浴びるなど、多様な役柄を見事に演じ分け評価は高い。新国立劇場公演では『アラベッタ』『マノン・レスコー』『トスカ』『夕鶴』『沈黙』『マノン』『ドン・キショット』『ドン・ジョヴァンニ』『椿姫』『セヴィリアの理髪師』に出演している。独唱会も、1976年のシューベルトの「冬の旅」を最初に、同じくシューベルトの「美しき水車屋の娘」「白鳥の歌」、シューマンの「詩人の恋」等で回を重ねている。日本大学芸術学部教授、二期会会員。



菊地 美奈 (きくち みな) ソプラノ

東京芸術大学卒業、同大学院修了。「新しい声 '99 コンクール」アジア代表及びドイツ本選に入選。ベルヴェデーレ国際音楽コンクール日本代表。新国立劇場『魔笛』パミーナ、同『ジークフリート』(K. ウォーナー演出) 森の小鳥、二期会『ポッペアの戴冠』タイトルロール、同『皇帝ティトの慈悲』(P. コンヴィチユニー演出) セルヴィーリア、同『メリー・ウィドー』ヴァランシエンヌ、同『フィガロの結婚』スザンナ(宮本亜門演出)、小澤征爾指揮『ファウストの劫罰』天の声、佐渡裕プロデュース・指揮『カルメン』フラスキータなど多数のオペラに出演。そのほか専門でもある日本歌曲のコンサート、第九やレクイエムなどのソプラノソロ、コメディユニット「オペラ三昧」、オペレッタやキャバレーソングの訳詞・脚本・企画演出など多彩な活動を行っている。銀座音楽ビヤプラザライオン宣伝企画プロデューサー。東海大学講師、二期会会員。



飯田 俊明 (いいた としあき) ピアノ

武蔵野音楽大学大学院修了。PTNA コンペティション Duo 特級最優秀賞。池田直樹、菊地美奈などのクラシック歌手、岡本知高、ミネハハ、平原綾香、エスコルタ、中島啓江などボーカリストや、オカリナの本谷美加子、ジプシーヴァイオリンの古館由佳子等多彩なジャンルをサポート。劇団四季「オペラ座の怪人」参加や、50枚以上のCD、愛知万博、山口キララ博、六本木ヒルズ時報、TV、映画「ピアノの森」などに作品を提供。最近の作品には、NHK 高知発地域ドラマ「ダルマさんが笑った」主題歌作曲や、安藤美姫のアイスショー音楽編曲などがある。